

# 大分県長期漁海況予報

〔2013 年 1 月～6 月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部  
879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦 194-6

Tel : 0972-32-2155 Fax : 0972-32-2156 <http://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/>

## 海況経過<2012 年 9～12 月>

### ■黒潮

都井岬では 9 月は小蛇行の一部が東進し、「やや離岸」となり、10 月から 11 月中旬に「かなり離岸」、11 月下旬からは、概ね「やや離岸」で推移しました。足摺岬では 9 月以降、「接岸」から「やや離岸」の接岸傾向で推移しました。

### ■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、9 月～11 月は「平年並み」、12 月は「やや低め」で推移しました。(図1)。

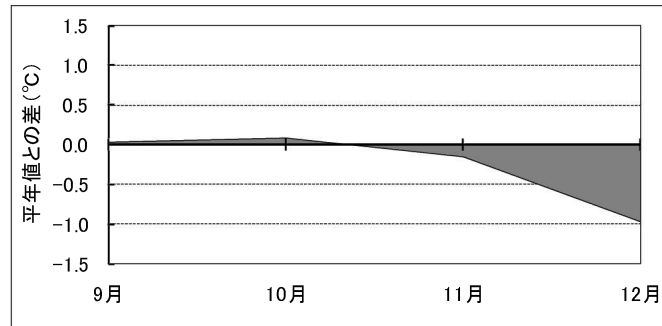


図1 豊後水道における水温の平年値との差(0～75m層の平均値)

### ■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、9 月は「低め」、10 月は「やや低め」、11 月は「平年並み」、12 月は「やや低め」で推移しました。(図2)。

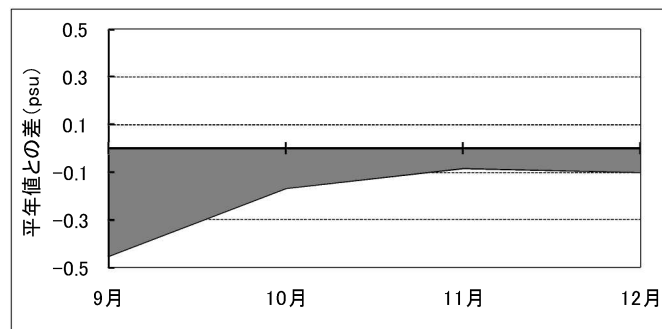


図2 豊後水道における塩分の平年値との差(0～75m層の平均値)

## 今後の海況の見通し<2013年1~6月>

### ■黒潮

都井岬沖では、2月までは離岸傾向で、3~4月は接岸傾向となり、5月以降は小蛇行が形成され離岸傾向となるでしょう。

足摺岬では接岸傾向で推移すると予測されますが、1~2月に小蛇行の東進により一時的に離岸するでしょう。

### ■沿岸水温

「平年並み」~「低め」で推移するでしょう。

### ■予測の説明と根拠

・黒潮流路予測は平成24年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2012)を参考にしました。

・沿岸水温は気温の影響を強く受けると考えられるため、平成24年12月25日発表の福岡管区気象台の「九州北部地方3ヶ月予報」では、1~3月の平均気温は「平年並み40%、低め40%」と予測していることから、そのように予測しました。

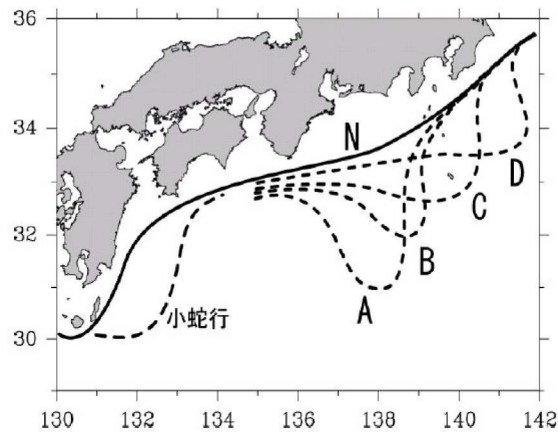


図3 黒潮流型の分類

※上図は平成24年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報より引用

## ■マイワシ

### 2012年8～12月の漁況経過

2012年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの漁獲量は、8月に266トン、9月に1トン、10月から12月はほとんど漁獲がなく、計267トンでした。前年比20%、(用語解説①) 平年比21%と、前年・平年を下回る漁となりました。

漁獲の主体は、7～9月は被鱗体長(用語解説②) 12～16cm前後の0歳魚(2012年生まれ)、10～11月は16～18cm前後の0歳魚(2012年生まれ)でした。

近隣海域(用語解説③)でも不漁となっています(2012年8～11月)。

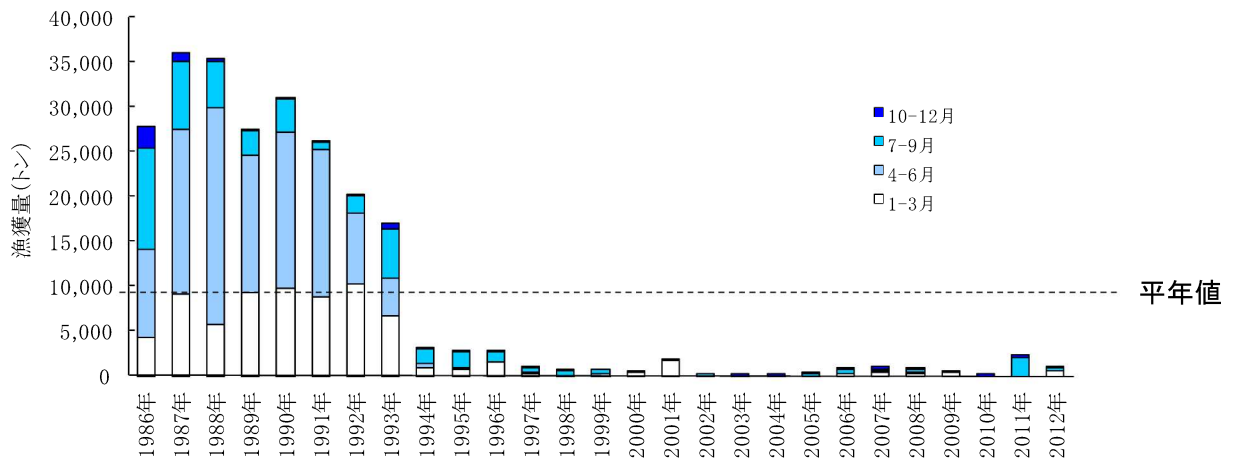


図4 マイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2013年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

1月は被鱗体長19cm前後の1歳(2012年生まれ)が主体で、4～6月からは被鱗体長7～12cm前後の0歳魚(2013年生まれ)が漁獲の主体となるでしょう。

### 【説明】

予測期間中の漁獲主体となる1歳魚(2012年生まれ)の来遊水準は、2012年生まれが漁獲主体となった2012年5～11月のまき網漁獲量が前年を下回った(前年比:16%)ことから、前年1歳魚(2011年生まれ)を下回ると考えられます。

そのため、今後の見通しについては前年を下回ると予測します。

なお、4～6月の漁獲主体となる0歳魚(2013年生まれ)については、現段階では不明です。

## ■カタクチイワシ(成魚)

### □2012年8～12月の漁況経過

2012年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの漁獲量は、8月に477トン、9月に253トン、10月に93トン、11月に41トン、12月に72トンの計936トンでした。前年比118%、平年比118%と、前年・平年を上回る漁となりました。

漁獲の主体は、佐伯湾内では被鱗体長7～9cm前後の0歳魚(2012年生まれ)でした。また、豊後水道(佐伯湾外)では被鱗体長10～13cm前後の1歳魚(2011年生まれ)でした。

近隣海域では愛媛県で前年を下回る漁、宮崎県・高知県では前年を上回る漁となっています(2012年8～11月)。

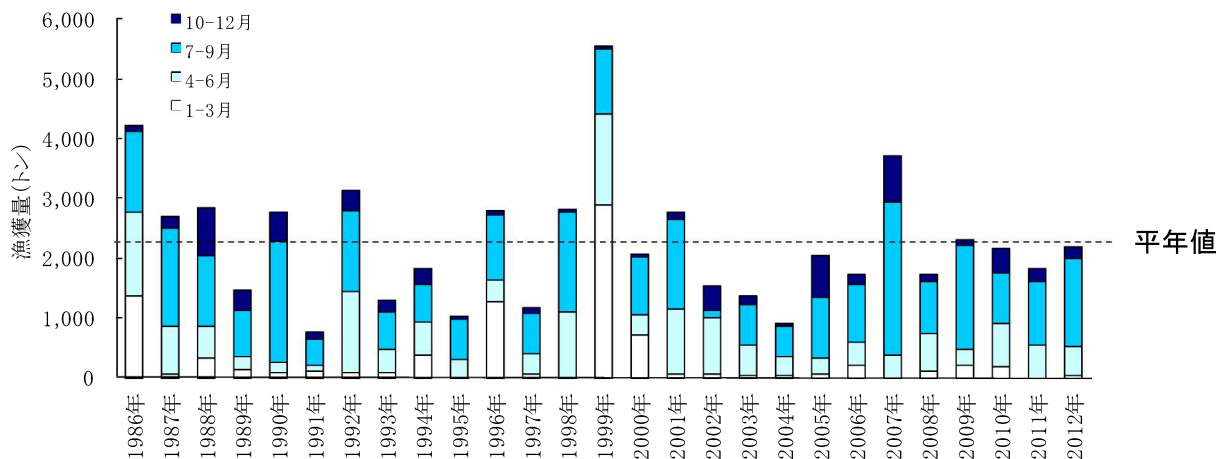


図5 カタクチイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2013年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を上回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

1～5月は7～12cm前後の1歳魚(2012年生まれ)が主体で、6月以降は6cm前後の0歳魚(2013年生まれ)が1歳魚(2012年生まれ)に混じるでしょう。

### 【説明】

予測期間中の漁獲主体となる1歳魚(2012年生まれ)の来遊水準は、2012年生まれが漁獲の主体となった6月から12月までの佐伯湾内のまき網における漁獲量が前年を上回ったこと(前年比:166%)、1～12月までの豊後水道におけるシラスの漁獲量(販売システムデータ)が前年を上回っていたことから(前年比:182%)、前年を上回ると考えられます。

そのため、今後の見通しについては前年を上回ると予測します。

なお、0歳魚(2013年生まれ)の来遊量については、現段階では不明です。

## ■ウルメイワシ

### □2012年8～12月の漁況経過

2012年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの漁獲量は、8月に1,013トン、9月に1,593トン、10月に330トン、11月に648トン、12月に133トンの計3,716トンでした。前年比115%、平年比720%と、前年・平年を上回る漁となりました。

漁獲の主体は、豊後水道では7～9月は被鱗体長11～15cm前後の0歳魚(2012年生まれ)、11～12月は被鱗体長15～21cm前後の0歳魚(2012年生まれ)でした。

近隣海域では愛媛県で前年を上回る漁、宮崎県・高知県では前年を下回る漁となっています(2012年8～11月)。

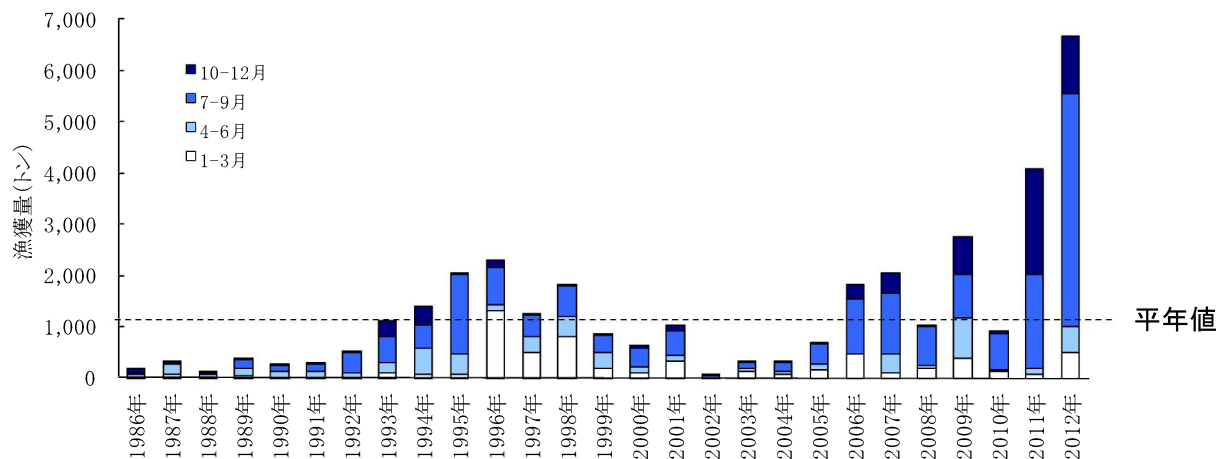


図6 ウルメイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2013年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を上回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

1～3月は被鱗体長20cm前後の1歳魚(2012年生まれ)が主体で、4～6月は被鱗体長5～12cmの0歳魚(2013年生まれ)が漁獲の主体となるでしょう。

### 【説明】

1～3月に漁獲の主体となる1歳魚(2012年生まれ)の来遊水準は、2012年生まれが漁獲の主体だった2012年4～12月のまき網漁獲量が前年を上回ったこと(前年比:115%)から、前年1歳魚(2011年生まれ)を上回ると考えられます。

そのため、今後の見通しについては前年を上回ると予測します。

なお、0歳魚(2013年級群)の来遊水準については、現段階では不明です。

## ■マアジ

### □2012年8～12月の漁況経過

2012年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの漁獲量は、8月に11トン、9月に74トン、10月に85トン、11月に109トン、12月に58トンの計337トンでした。前年比38%、平年比23%と、前年・平年を下回る漁となりました。

漁獲の主体は、尾叉長<sup>(用語解説④)</sup>11～15cm前後の0歳魚(2012年生まれ)でした。

近隣海域でも不漁となっています(2012年8～11月)。

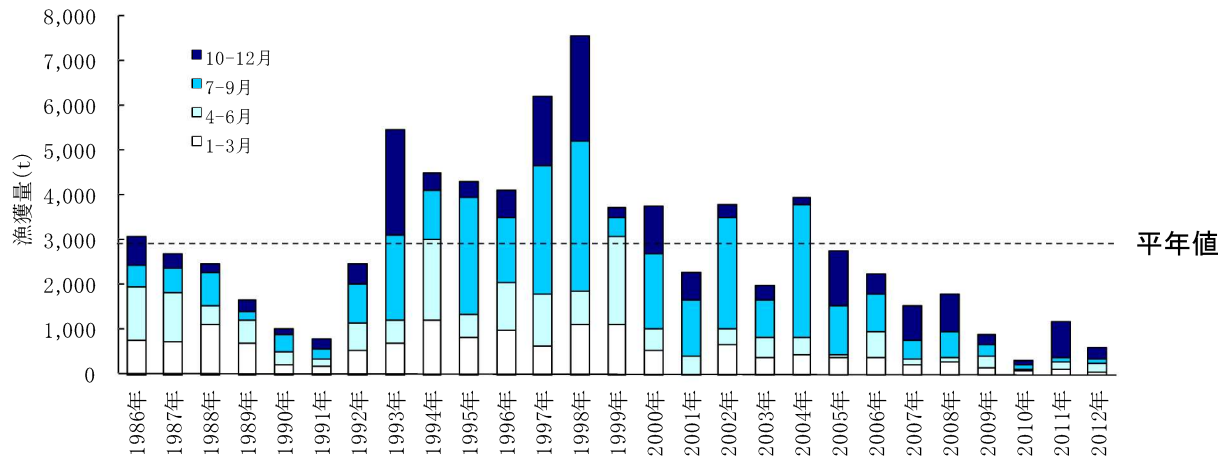


図7 マアジのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2013年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

尾叉長15～20cm前後の1歳魚(2012年生まれ)が漁獲の主体で、2歳魚以上(20cm以上)が混じるでしょう。また、5月以降から0歳魚(2013年生まれ)が混じるでしょう。

### 【説明】

予測期間中の漁獲の主体となる1歳魚(2012年生まれ)の来遊水準は、2012年生まれが漁獲の主体だった2012年8～12月のまき網漁獲量が前年を下回ったこと(前年比:38%)から、前年1歳魚(2011年生まれ)を下回ると考えられます。

そのため、今後の見通しについては前年を下回ると予測します。

なお、0歳魚(2013年生まれ)の来遊水準については、現段階では不明です。

## ■さば類

### □2012年8～12月の漁況経過

2012年8～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるさば類の漁獲量は、8月に41トン、9月に7トン、10月に272トン、11月に67トン、12月に55トンの計442トンでした。前年比103%、平年比17%と、前年並みで平年を下回る漁となりました。

漁場は漁獲のほとんどが豊後水道域であり、魚種はゴマサバ主体でした(ゴマサバ:78%、マサバ:22%)。また、佐伯湾内での主体はマサバであり、判別できた個体のうち98%がマサバでした。漁獲量は豊後水道域の漁獲と比べるとわずかでした。

近隣海域では愛媛県で前年並みの漁、宮崎県・高知県では前年を下回る漁となっています(2012年8～11月)。

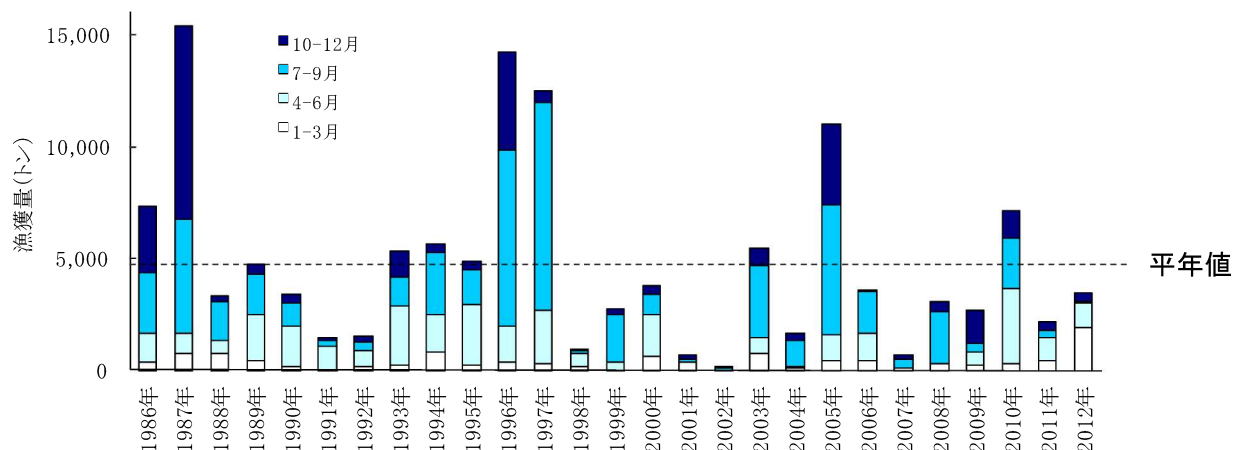


図8 さば類(マサバ・ゴマサバ)のまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<2013年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

1～3月はゴマサバ2歳魚主体(2011年生まれ)に3歳魚以上(2010年生まれ)の大型のゴマサバが混じるでしょう。4月以降は1～2歳魚の他、佐伯湾で0歳魚(2013年生まれ)が加わるでしょう。

### 【説明】

予測期間中の漁獲主体となる2歳魚(2011年生まれ)の漁況経過をみると、例年1～2歳魚が漁獲主体となる2012年6～9月のまき網漁獲量が前年を下回っていた(前年比:11%)ことから、前年2歳魚(2010年生まれ)を下回ると考えられます。

そのため、今後の見通しについては前年を下回ると予測します。

なお、マサバ、ゴマサバのどちらかが来遊の主体になるかについては、現段階では予測は困難です。

## その他

### ■予測の根拠および参考資料

・平成24年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2012)

### ■用語解説

- ①平年比：1986～2011年までの比
- ②被鱗体長：体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ③近隣海域：宮崎県・愛媛県・高知県の海域とする。
- ④尾叉長：体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

### ■問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 栽培資源チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6

電話:0972-32-2155

FAX:0972-32-2156